

令和 8 年 度

生 活 環 境 学 部

第 3 年 次 編 入 学 者 選 抜 学 力 試 験 問 題

小 論 文

〔文化情報学科 生活文化学コース〕

令和 7 年 6 月 7 日 (土)

10 : 00 ~ 11 : 30

注 意

1. 解答は、別添の解答用紙に書くこと。
2. 総ページ数 ——— 4 ページ
問題ページ ——— 第 2 ~ 4 ページ
(第 1 ページは、下書き用紙)
3. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

I 以下の資料1を読んで、次の問1～3に答えなさい。

【問1】資料1では、自分自身の気候変動対策への協力意図と、他者の協力意図の認識との間にギャップがあることが報告されていますが、このギャップはなぜ生じたと考えられるか、あなたの意見を述べなさい。

【問2】自分自身の気候変動対策への協力意図と、他者の協力意図の認識との間のギャップにより、どのような結果が生じると予想されますか。

【問3】資料1の内容を踏まえて、個人の気候変動に関する意識や行動を変えるためには、どのように人々に働きかけることが有効であると考えられるか、論じなさい。

資料1

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：朝日新聞 2025 年 4 月 23 日 「ここまで高いとは」 行動経済学者が驚いた気候変動
の認識ギャップ

Ⅱ 以下の資料2を読んで、次の問1～3に答えなさい。なお、解答に字数制限はない。

【問1】下線①の内容に言及しながら、下線②「創造的破壊」の具体例についてあなたが考えるものを説明しなさい。ただし、資料の中にある例は除くものとする。

【問2】下線②「創造的破壊」を促進するためには、どのような政策が必要だろうか。その政策が経済・社会に影響を与えるメカニズムとともに説明しなさい。

【問3】下線②「創造的破壊」の経済・社会にとってのマイナスの側面はあるだろうか。あなたの考えを理由とともに説明しなさい。

資料2

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：シュムペーター・J・A『資本主義・社会主義・民主主義』、中山伊知郎、東畑精一翻訳、東洋経済新報社、1995年